

第2回レポート

自校の教師同士の対話を通じて、 「主体的・対話的で深い学び」を考える

新学習指導要領の実施まで2年を切った今、自校の教育の「これから」について、教師同士がそれぞれの考えや思いを率直に語り合う場が求められている。そこで、VIEW21 編集部は、自校の教師同士で自校の教育の「これから」について考え、語り合うオンライン・ワークショップを企画。その第2回を11月25日に実施した。

第2回オンライン・ワークショップ の概要

日時 2020年11月25日(水)
15時30分～17時30分

形式 オンライン(ライブ配信)

テーマ 「主体的・対話的で深い学び」

主な内容

- VIEW21 編集部による本誌10月号の特集記事についての解説
- 本誌10月号の特集の末尾に掲載のワークシート(P.32～33)を活用した、校内での対話
「①私が育成を目指す資質・能力」「②①の資質・能力を育む、私が考える『主体的・対話的で深い学び』」の2点について、それぞれ自校の教師同士で語り合い、そこでの気づきや疑問をオンライン上のシートに書き込むことで、参加校がお互いの状況や課題を共有。講師の國學院大学・田村学教授が参加者の疑問に回答・助言を行った上で、「主体的・対話的で深い学び」について解説した。

現場の率直な疑問に

講師が答えながら対話を展開

本誌は、特集の内容を踏まえて、自校の教師が教育の「これから」について語り合うオンライン・ワークショップを実施している。11月25日に行われた第2回も、特集のテーマについて自校の教師同士で語り合い、実践につなげるためのワークシート(10月号は、P.32～33に収録)を使って対話が展開された。

まず、「①私が育成を目指す資質・能力」と「②①の資質・能力を育む、私が考える『主体的・対話的で深い学び』」の2点について、それぞれ自校の教師同士で語り合い、そこでの気づきや疑問をオンライン上のシートに書き込んだ。参加者からは、「深い学びとはどのような学びか」「受験勉強は主体的な学びと言えるのか」といった率直な疑問が提示された。それらの疑問に対して、今回の講師である國學院大学・田村学教授が、「知識が関連づけられて、駆動する状態、自由に使いこなせる状態に向かう学びが深い学びです」「受験勉強で各教科の面白さに気づき、入試を経た後もその学びが続け



写真 「主体的・対話的で深い学び」について、学校現場での事例を挙げながら解説する田村教授。田村教授は、「今、学校という社会資本の価値が問われている。学校には『未来社会を創造する主体は自分だ』という自覚を生徒に育む教育が求められている」と語った。

ば、主体的な学びと言えます」などと丁寧に回答しながら、「主体的・対話的で深い学び」に対する理解を深めるための助言を行った。そして、田村教授は、「身につけた知識が未知の状況でも使えるようになる体験をさせることで、知識ははがれ落ちにくくなります。習得と探究は二項対立するものではないのです」と強調し、「専門性の高い高校教師は、深い学びを実現させることができる力をお持ちだと思います」と、参加

イベントのご案内

VIEW21 PRESENTS

第3回オンライン・ワークショップ

自校の教師同士の 対話を通じて、 「次に繋がる学習評価」を考える

2021年
2月9日(火)
オンラインで
開催!

新学習指導要領では、学習評価（以下、評価）を生徒の学習改善や教師の指導改善につながるものにしていくよう、その改善が求められています。生徒が評価を次の学習に向かうためのものとして受け止められるかどうかに影響を与える要因の1つと思われるのが、評価を伝える際の教師からの「声かけ」です。そこで、本ワークショップでは、模擬試験を軸とした学習のPDCAサイクルを構築する取り組みを自校で牽引している、愛知県立豊野高校（本号P.22～25）の谷口明正先生を講師に招き、模擬試験の結果返却時の声かけ例などをご紹介いただきながら、谷口先生と編集部のファシリテーションの下、自校の教師同士で、「次に繋がる学習評価」について考え、語り合うオンライン・ワークショップを開催します。

本号P.28～29のワークシートを用いながら、
自校の教師同士の対話を通じて、自校の教育の「これから」を考えます

講師・ファシリテーター

愛知県立
豊野高校
進路指導主事
谷口明正



◎教職歴14年。同校に赴任して10年目。数学科。主体的な学習姿勢の育成を目指し、模擬試験を軸とする学習のPDCAサイクルを生徒が回せるようになるための支援として、「自己分析・学習計画表」「模擬試験の振り返り」などの全校一丸の取り組みを牽引している。

ワークショップの主な内容

① 12月号の特集について解説

12月号の特集について、谷口先生と編集部が解説

② 自校の教師同士で対話

谷口先生と編集部のファシリテーションの下、本号P.28～29掲載のワークシートを用いた、自校の教師同士による対話を通じて、「次に繋がる学習評価」と、その実現に向けて取り組むべきことについて考える

③ 質疑応答、議論内容共有

記事についての質疑応答と、各校の対話の内容の共有を行う

日時	2021年2月9日(火) 15時～17時 * 14時40分からベネッセ教育情報センターによる新学習指導要領に関する情報提供を予定しています。
形式	オンライン(ライブ配信) 申し込みいただいた方に、詳しい参加方法をご案内します
参加申し込み方法・締め切り	QRコード、またはURLから登録してください 参加申し込みは2021年2月4日(木)まで https://enquete.benesse.ne.jp/forms/o/we9d5f65f8/form.php
参加費	無料

本号P.28～29のワークシートにお取り組みの上、
自校の先生方と一緒に(2人以上)ご参加ください

者にエールを送った。
第1回に引き続き続き参加した石川県・私立星稜中学校・高校の教師は、「田村教授の説明を聞きながら同僚

と話し合う中で、『主体的・対話的で深い学び』の各学びが相互につながっていくイメージが持てた」と、ワークショップで得た成果を語っ

た。
自校の教師同士の対話を通じて特集のテーマに対する考えを深めるオンライン・ワークショップの今回の

テーマは、「学習評価」だ。新学習指導要領に基づき学習評価の実施に向けて、本ワークショップを役立てていただきたい。